

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年11月17日 (2011.11.17)

【公開番号】特開2010-79247(P2010-79247A)

【公開日】平成22年4月8日 (2010.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2010-014

【出願番号】特願2009-101053(P2009-101053)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

G 0 2 B 5/22 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 5/20 1 0 1

G 0 2 B 5/22

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月4日 (2011.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

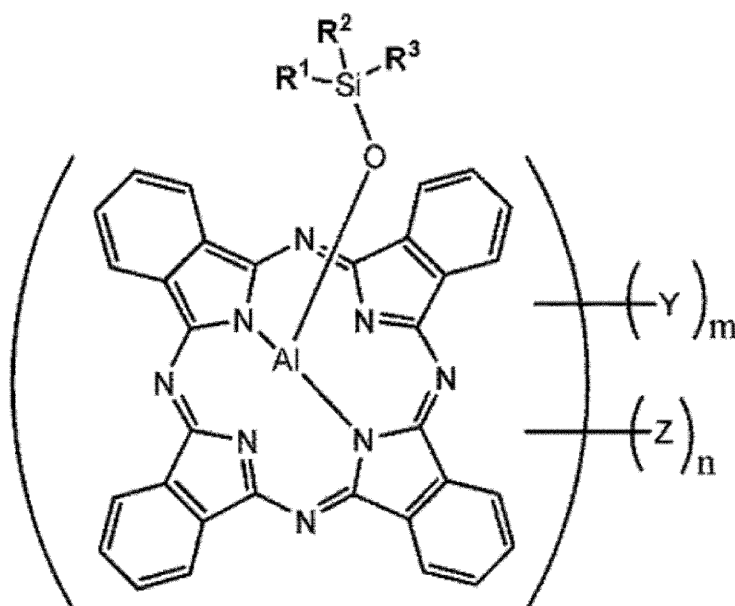
シロキシアルミフタロシアニン化合物を含有してなるカラーフィルタ用着色剤。

【請求項 2】

シロキシアルミフタロシアニン化合物が、下記一般式 (1) で表される化合物であることを特徴とする請求項 1 に記載のカラーフィルタ用着色剤。

一般式 (1) :

【化 1】



【一般式 (1) 中、 R^1 、 R^2 、及び R^3 は、それぞれ独立に、炭素数 1 ~ 18 のアルキル基

、又は環の数が4以下の芳香族基である。Y、及びZは、それぞれ独立に、水素原子、置換基を有してもよいアルキル基、置換基を有してもよいアリール基、シアノ基、ニトロ基、 $-OR^4$ 、 $-COR^4$ 、 $-COOR^4$ 、又は、 $-NR^4R^5$ で表される置換基である。ただし、 R^4 と R^5 は、互いに独立に、水素原子、又は置換基を有してもよいアルキル基を表す。又は R^4 と R^5 とで一体となって更なる窒素、酸素若しくは硫黄原子を含む複素環を形成してもよい。mは0～16の整数、nは0～16の整数で、 $m+n$ は0～16の整数である。]

【請求項3】

請求項1または2に記載のカラーフィルタ用着色剤と、樹脂及び/又は樹脂の前駆体と、を含有することを特徴とするカラーフィルタ用着色組成物。

【請求項4】

請求項3に記載のカラーフィルタ用着色組成物を用いてなるセグメントを有することを特徴とするカラーフィルタ。